

お元気ですか

2023年11月202号



発行所 (福)横浜市社会福祉協議会
障害者支援センター
〒231-8482 横浜市中区桜木町1丁目1番地
横浜市健康福祉総合センター9階
☎045-681-1211(代表) ☎045-680-1550
🌐<https://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/>
編集発行人 内嶋 順一

横浜市 障害者支援センター

検索

「進路対策研究会 調査報告書」
「障害福祉入門研修」
はHPに掲載しています



地域訓練会 童童クラブ (泉の会)

地域訓練会「泉の会童童クラブ(以下童童クラブ)」は、昭和48年に行き場のなかった障がい児数人の小さなグループから始まり、今年で50周年を迎えました。現在は、就学前の子どもたちが地域活動ホームどんとこい・みなみ(南区)で、毎週火・水曜日に保育の活動をしています。

先生
(ボランティア)に
ご挨拶
シール貼り



朝の会



帰りの会



一日の流れ

とんとんとんとん
10:00 入室 1日の流れ
・自分のかさねを置く
・きと洗う
・ノートにシールを貼る、あいさつ
・名刺を貼る
・おもちゃで遊ぶ
10:30 朝の会
・おもちゃで遊ぶ
・おきかえる
・あつまり (イスに座って
・挨拶、お返事、手遊び、楽器など)
10:50 活動
・親子同伴の分離
11:40 活動終了
・手洗いなどする
12:00 お弁当
・歌をうたって親子で昼食
・食事のマナーを伝える
12:30 自由遊び
・子どもたちは遊ぶには
・ママたちは部屋の清掃など
13:00 お楽しみ
・イスに座り、ペーパーや身体遊び
・おきかえて、帰りの会
13:30 終了

外遊び
夏は
プール!



お弁当



母子分離で
自由遊び



お母さんとボランティアさんの思い...詳細は次ページへ!



～ お母さんと ボランティアさんの思い ～

お母さんの思い

童童クラブとの出会い

区役所の保健師からの紹介や、泉の会の会員が出向いている区役所の親子教室、「地域子育て支援拠点」から紹介されたなど様々。

入会してから

入会して1年になるお母さんは「入会前は集団の場を避けて過ごしていた」「入会当初は走り回っていたずらをしたり、友達を押し退けて泣かせてしまうなど子どもの姿に辛くなることがあった」などと話されていました。しかし、経験を重ねることで朝の入室後の流れが身につく、自分でできることも増えたそうです。人に関心がなかった我が子が、友達やボランティアさんを追いかけてここに誘うようになった、と嬉しそうに話されていました。

「自分の息子のために時間を割いて話題にあげてくれる人がこんなにたくさんいる！」ということがとにかく嬉しいです。

童童クラブ部長
樋野さん

ボランティアさんの思い

活動の原動力

「子どもたちが変化していく姿を見られることが嬉しい!」
「子どもはやっぱりかわいい!」

心がけていること

「急がずゆっくり待つこと」
「わかりやすく絵で伝えること」
「ダメって言わないようにすること」

ボランティアを始めた当初は、自分にできることがあるのか不安でした。童童クラブは、子どもたちができたことに対して他のお母さんやボランティアさんみんなで喜べる場です。現代では、ネットでも情報を得られますが、お母さんたちの「つながり」がここにはあります。

ボランティアリーダー
黒木さん

今回は笑顔あふれる童童クラブをご紹介しました。取材を通して、顔を合わせてのコミュニケーションやつながりの大切さを改めて感じました。成長し続ける子どもたちと童童クラブに乞うご期待!
※地域訓練会は市内各地域にあります。詳細は障害者支援センター・ホームページをご覧ください。



あゆみ荘だより

お問い合わせ ☎ 045-941-8383

「客室」紹介



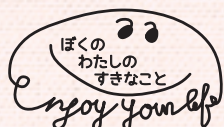
客室は2階にあり、洋室が4室、和室が9室の全13室です。洋室の室内やトイレは車椅子で移動でき、ベッドを2台常設しています。また補助ベッドを追加で1台設置できる洋室もあります。

畳の和室は座りながらゆったりとおくつろぎいただけます。お布団でのご用意になりますが、補助ベッドも設置できますのでご相談ください。



お知らせ

- ◆ 都筑ふれあいの丘まつり
令和5年11月12日(日)開催
- ◆ 障害のあるお子さんとそのご家族の写真展
令和5年11月12日(日)～12月10日(日)
会場は横浜あゆみ荘1階ラウンジにて
- ◆ 年末年始休館
令和5年12月29日(金)～令和6年1月3日(水)
- ◆ 施設点検による臨時休館
令和6年1月18日(木)～1月26日(金)まで



ぼくの わたしの すきなこと

何やら大きな手提げを持って姿を見せてくれたのは、「港南地域活動ホームひの」に通う勝浦陽平さん。大の映画好きという勝浦さんの手提げの中身は、映画のパンフレットの数々。見せてもらうと、ドラえもん、ディズニー、マリオ、邦画コメディ等々。中でも、ドラえもんは小さい頃からアニメで見ていて、新作映画は必ず観に行きます。観た映画はパンフレットを買うのが恒例で、映画の後はレストランで食事をするのもしばしば。次に観に行く予定のクレヨンしんちゃんが待ち遠しいようです。

映画だけでなく、イベントへの参加も好きで、特に桜木町での催し物によく行き、ほぼ毎週出かけているとのこと。

他にも「すきなこと」がたくさんある勝浦さん。テレビ好きでもあり、『テレビガイド』を定期購読しており、今のお勧めは月9とのこと。芸能情報にも詳しく、スマホで情報をゲットし、作業所メンバーと共有して楽

港南地域活動ホームひの 勝浦 陽平さん

しんでいます。旅行も好きで、岡山県旅行は常連。今後はディズニーランドにも行ってみたいそうです。

コロナ前は、「ひの」の仲良し3人組でよく出かけて楽しかったと懐かしむ姿が印象的。これからも車椅子でいろいろな場所に行ってみたいと期待に溢れていました。

じっくり考えて真剣にインタビューに答えてくださった勝浦さん。大切な映画のパンフレットを片手に満面の笑みでパシャリ。

いつも一緒に出掛けるヘルパーの萩原さんと。



障害者支援センターによる 地域活動支援センター精神作業所型への支援が始まりました。

これまで横浜市が行っていた地域活動支援センター精神作業所型への支援が、令和5年度より、障害者支援センターへ移行されました。支援センターでは、従来から行ってきた知的・身体障害の作業所型への支援に加え、三障害一体的な支援になります。

今回は、運営協議会に呼んでいただいた金沢区の事業所“地域活動支援センターミモザ(以下、ミモザ)”をご紹介します。



区役所などで、ミモザの啓発を兼ねた販売も行っています。

ミモザは、摂食障害を中心とした心の病気を抱えた女性の居場所です。

摂食障害は、様々な原因から大量に食べて嘔吐などで排出してしまったり、食べられずに痩せてしまうなど、精神的ストレスが食行動の偏りに表れて日常生活に支障をきたしてしまう病気です。周りから病気の理解をされにくいと、一人で悩みを抱え、家に閉じこもってしまう方もいます。同じ悩みを抱えた仲間やスタッフのいるミモザに行くことは、大きな一歩となります。

ミモザでは、パウンドケーキを始めとした自主製品の製作、食事や病気と向き合うミーティング、サークル活動なども行われています。通所者同士で話したり、食事をするなど自由に過ごす時間もあります。参加したいサークルに行く、毎日の居場所として行くなど通い方は様々。

通所者のお一人は「ミモザは雰囲気が明るく、来ることが生活の励みになっている。スタッフも障害への理解があって感謝をしている。」と話してくれました。スタッフは「ミモザに来て、少しずつ変わられていく姿を見ると嬉しく、やりがいを感じる」と話されていました。ミモザという場所が、通所者・スタッフにとって大切な居場所となっています。



よこはま障害者共同受注総合センター 受注センター わーくる通信



株式会社JA横浜協同サービス様よりわーくるへ、寄付のご相談がありました。「斎場やお寺で葬儀等に使用したろうそくをこれまで廃棄していたが、障害者事業所の製品作りに活用してもらいたい」とのことでした。そこで、登録事業所の中から栄区上郷町にある251(nico-ichi)をご紹介します。

251(nico-ichi)は、主に身体障害のあるメンバーさんが通う事業所です。様々なモノづくりを通じて自立支援を進めており、廃棄されるものから新たな製品を生み出すアップサイクルに取り組んでいます。使用済みのろうそくは、メンバーさんの手によって色も形も様々なキャンドルに生まれ変わります。

煤等の汚れを削り取ったろうそくを湯せんにかけて溶かし、色付けして型に流し込みます。色付けには、短くなったクレヨンを保育園より譲り受けて使用します。

これらの手順を、メンバーみんなで分担して進めます。使用する道具も、それぞれが作業しやすいように不用品を加工したり手作りしたりの、オリジナルです。

今回は、251(nico-ichi)にとって寄付だけでなく葬祭関連のイベントへの出店にもつながりました。商品について興味を持ち質問しながら購入する方も多くみられ、「私たちの取り組みをより多くの人に知ってもらう、いい機会になりました」と、職員の湯川さんは話します。

株式会社JA横浜協同サービスの北川さんは、「これまで廃棄していたものが活用されることになり、本当に良かった。このつながりをきっかけに、今後もいろいろな機会で連携・協力していきたい」と語ってくれました。

これからの展開が、とても楽しみです。



寄付されたろうそくの一部



型から外したろうそくに、芯を通します



人気商品のフローティングキャンドル

お問い合わせ よこはま障害者共同受注総合センター
☎045-306-9910



251(nico-ich)
Instagram



望遠鏡

びあまつの練習風景



私が勤めている屏風ヶ浦のシャロームの家は、朝から賑やかです！その中で、もまれながら、自分もそこに居ていいんだよって感じます。みんな個性がありキラキラしています。障害があることは、個性がひとつふえたこと。

木曜日は、メンバーさんが作るカレーの日です。お肉とシメジが入っていて、中辛かなあ？水菜とトマトのサラダも作ります。材料の買い物も、メンバーさんが行きます。お一人さま300円です。是非みなさまも食べに来てください！大盛も300円だよ 🤪

YPS副会長ピアスタッフ 村山美保子